

2019年度

2019年 4月 1日から
2020年 3月 31日まで

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	67,958
保険引受収益	36,678
正味収入保険料	36,678
保険代位等収益	22,090
資産運用収益	9,178
利息及び配当金収入	9,178
その他経常収益	12
経常費用	69,558
保険引受費用	59,956
正味支払保険金	57,058
保険代位債権等取得額	△ 6,255
諸手数料	△ 890
支払備金繰入額	△ 2,389
責任準備金繰入額	12,266
未経過保険料繰入額	△ 1,256
異常危険準備金繰入額	13,522
為替差損	166
その他保険引受費用	0
保険代位等費用	801
資産運用費用	2,807
営業費及び一般管理費	5,993
経常損失	△ 1,600
特別利益	1,600
政府交付金収入	1,600
税引前当期純利益	-
法人税及び住民税	32
法人税等調整額	△ 19
法人税等合計	12
当期純損失	△ 12

(注)

1. (1) 正味収入保険料の内訳は次のとおりであります。

収入保険料	42,127 百万円
支払再保険料	△5,449 百万円
計	36,678 百万円

(2) 正味支払保険金の内訳は次のとおりであります。

支払保険金	57,058 百万円
回収再保険金	－百万円
計	57,058 百万円

(3) 諸手数料の内訳は次のとおりであります。

支払諸手数料	1 百万円
出再保険手数料	△891 百万円
計	△890 百万円

(4) 責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

未経過保険料繰入額（出再責任準備金控除前）	2,310 百万円
同上にかかる出再責任準備金繰入額	3,565 百万円
差引（イ）	△1,256 百万円
その他の責任準備金繰入額（ロ）	13,522 百万円
計（イ＋ロ）	12,266 百万円

(5) 利息及び配当収入の内訳は次のとおりであります。

預貯金利息	3,119 百万円
有価証券利息・配当金	6,059 百万円
その他利息・配当金	－百万円
計	9,178 百万円

(6) 保険代位等収益及び保険代位等費用の内訳は次のとおりであります。

(保険代位等収益)

非常事故代位債権回収益	10,784 百万円
非常事故代位債権利息収入	3,588 百万円
信用事故代位債権回収益	1,716 百万円
信用事故代位債権利息収入	26 百万円
譲受債権回収益	93 百万円
受取回収金	5,777 百万円
受取海外受再回収金	78 百万円
その他保険代位債権等収益	28 百万円
計	22,090 百万円

(保険代位等費用)

貸倒損失 (信用)	250 百万円
債権回収費用 (元受)	114 百万円
回収費用 (受再)	11 百万円
為替差損 (保険代位等費用)	426 百万円
計	801 百万円

2. 関連当事者との取引は次のとおりであります。

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (注2)	科目	期末残高
主要株主	財務省	被所有 直接 100%	貿易保険行政	政府交付金収入 (注1)	1,600	—	—

取引条件及び取引条件の決定方法等

(注1) 重債務貧困国等に対する債務削減により生ずる、貿易保険事業に対する影響額の一部として交付を受けているものであります。

(注2) 取引金額には消費税等を含めておりません。

3. 特別利益に計上している政府交付金収入は、重債務貧困国等に対する債務削減により生ずる、貿易保険事業に対する影響額の一部について政府より交付を受けているものであります。

4. 1株当たり当期純損失金額は△0円83銭であります。

算定上の基礎である当期純損失金額は△12百万円であり、その全額が普通株式に係るものであります。

また、普通株式の期中平均株式数は15,000千株であります。

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 金額は記載単位未満を四捨五入にて表示しております。